

身体拘束廃止にむけた宣言

当法人では患者様の身体拘束ゼロを目指しています

- ① 法人全体で取り組みます
- ② 患者様、家族様にも情報共有いたします
- ③ 患者様の尊厳と安全を両立するために最大限の努力をします
- ④ 事故の起きない環境を整備します

やむを得ず身体拘束を行う場合は、以下を必ず行います

- 1 拘束を1人で判断せず、医師を含めた多職種で相談すること
 - 2 本人、ご家族にていねいに説明すること
 - 3 拘束の方法、時間を必ず記録すること
 - 4 常に拘束解除を試みることに
- ⑤ 身体拘束の3原則を常に守ります

切迫性：命や身体に危険が発生する可能性が高い

非代償性：他に方法がない状態であること

一時性：あくまでも一時的であること

2026年5月 御幸病院 身体拘束最小化委員会

御幸病院 院長 西上 和宏

御幸病院 看護部長 今村 かおる

身体拘束率

身体拘束最小化基準:15%以下
当院平均:14.21%

